

## りんご「大夢」の裂果を軽減するための摘果時期

## 【概要】

## 1 りんご「大夢」について

「大夢」は本県育成のりんごで、収穫期が11月上旬の大玉で赤色の品種です(図1)。果汁が多く、みつが入り、食味が良好で、奨励品種に採用されていますが、大玉になるほど裂果の発生が多く見られるという課題があります。



図1 「大夢」の果実外観

## 2 成果の概要

- (1) 仕上げ摘果の時期を通常の落花40日後から落花60日後に変更することで、裂果軽減を図ることができます(図2)。
- (2) 裂果軽減が図られる主な要因としては、裂果の多い大玉果の割合が減り、全体的に果重が小さくなるためと考えられます(図3)。
- (3) 果重以外の果実品質に差は見られないことから、落花40日後の摘果区と同等の果実が得られます。なお、仕上げ摘果の時期を遅らせたことによる翌年の花芽や樹体生育への影響はありません。

## 3 留意事項

- (1) 粗摘果は遅らせず、落花20日後を目安に実施しましょう。
- (2) 摘果強度の目安は1果/5頂芽です。

## 【試験データ等】

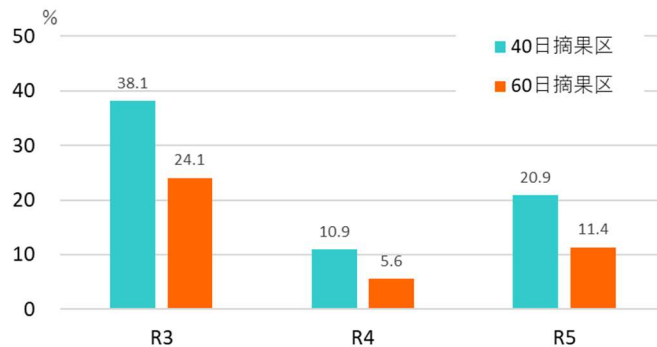


図2 摘果時期別の裂果率(外部裂果)(R3~5年)

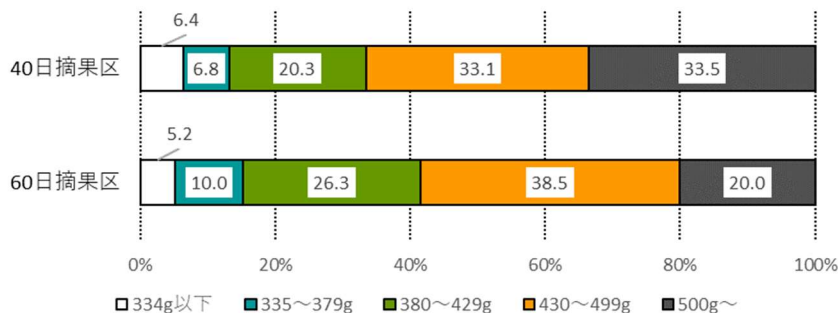


図3 摘果時期別果重の割合(R3年)

【令和5年度成果】りんご「大夢」の裂果を軽減するための摘果時期(R5-指-15)